

たからの環ワークショップ～地域循環共生圏の形成に向けて～ in 鹿児島 参加申込書

企業・団体名	
所属部署	
参加者氏名	
E-mail	
駐車場利用の有無 (いずれかに✓)	<input type="checkbox"/> 利用あり (1名/台) <input type="checkbox"/> 利用あり (複数名/台) <input type="checkbox"/> 利用なし

※お預かりした個人情報は、当ワークショップの運営のみに使用し、みずほ情報総研株式会社の「お客さまの個人情報保護に関するプライバシーポリシー」に基づいて厳重に管理いたします。

●当日の進行の参考とさせていただきますため、以下、アンケートにご協力ください●

Q1 「地域循環共生圏」がどのようなものが御存知ですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

参考：環境省_地域循環共生圏ポータルサイト (<https://www.env.go.jp/seisaku/list/kyoseiken/index.html>)
環境省_地域循環共生圏(循環分野)サイト (http://www.env.go.jp/recycle/circul/area_cases.html)

<input type="checkbox"/>	1. 内容までよく知っている
<input type="checkbox"/>	2. 「地域循環共生圏」という言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない
<input type="checkbox"/>	3. 「地域循環共生圏」という言葉を聞いたことがない

Q2 地域での資源循環を活性化するために重要なことは何だと思われますか。あてはまるもの全てに○を付けてください(複数回答可)。

<input type="checkbox"/>	1. 広域化 (区域や行政の範囲を越えて連携して取り組む)
<input type="checkbox"/>	2. 統合管理・一体的処理 (特定の拠点に循環資源を集中させたり、同じ性状のものをまとめて転換処理する)
<input type="checkbox"/>	3. 地域資源・既存施設の活用 (地域内の未利用資源や資源ごみ等の地域資源、既存施設等を活用する)
<input type="checkbox"/>	4. 地域課題の解決 (少子高齢化など、地域が抱える社会変化に対応した資源循環に取り組む)
<input type="checkbox"/>	5. 動静脈連携 (企業(動脈)と、自治体等(静脈)が連携して、資源循環に取り組む)
<input type="checkbox"/>	6. 新規ビジネス (技術革新等による新規ビジネスの創出、新たな技術を活用した循環産業の形成)

裏面もご回答ください

Q3 地域で資源循環が進まない要因として、どのようなことが考えられますか。自由に御記入ください。

Q4 地域循環共生圏の取組に期待することがございましたら、自由に御記入ください。

(参考) 地域循環共生圏とは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方。農山漁村も都市も活かす、我が国の地域の活力を最大限に発揮する構想であり、その創造により SDGs や Society5.0 の実現にもつながるもので、「地域循環共生圏」の創造による持続可能な地域づくりを通じて、環境で地方を元気にするとともに、持続可能な循環共生型の社会の構築を目指す。

御協力いただき、ありがとうございました。

【お問合せ先】 たからの環ワークショップ事務局

みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第1部 担当：横尾・不破・高木

(HP) <https://www.mizuho-ir.co.jp/seminar/info/2020/junkan0115.html>

(E-mail) junkan2019@mizuho-ir.co.jp (FAX) 03-5281-5466